

方向性2 子育て・教育、健康長寿などにおける南区ウェルビーイング総合プロジェクト

No.	1				2				3			
事業名	南区健康長寿推進プロジェクト				南区子どもウェルビーイングシステム事業				個に応じた最適な事業・サービスなどをプログラムとして提供する体制の構築			
所管課	南保健センター				南・子育て支援課				南保健福祉総合センター			
目的	市民主体の健康づくり等の取り組みを実施し、生活習慣病予防や重症化予防を図り区民の健康レベルの向上につなげる。また、誰一人取り残さない、個に寄り添った「最大多様・最大幸福」のサービスを提供する。				・子ども虐待の未然予防に重点をおき、子育て世代の子ども虐待に対する意識のボトムアップを図る。 ・子どもの成長過程において切れ目のない包括的な支援を提供する。				南区民による事業への関心や課題意識の向上、事業参加・健診受診・サービス利用の拡大			
事業内容	・「みなみ健活キャラバン」の実施。多くの区民が来場するイベント等で啓発の機会が少ない18歳から64歳までの若い世代や健康無関心層、ハイリスク者へのアプローチを関係機関と連携し実施する。 ・運動習慣や介護予防等に関する各種事業や健康相談の実施 ・健康に関する情報発信 ・テレビ通訳の活用、子育て健康に関する資料の翻訳等による外国人区民への情報提供				・子どもを支援　・子どもの自己肯定感、自己有用感の向上を支援するプログラムを展開すると同時に、プログラムを展開できる職員のスキルの向上にも取り組む。 ・養育者への支援　・法改正で禁止された体罰についての理解を促し、子どもの安心安全が守られることでウェルビーイングが向上することを理解し、養育者自身が安心安全の中での子育てができるように支援していく。 ・学校等・地域支援者へ支援　・区内教育機関等と子ども支援に取り組む『南区子どもサポートプラットフォーム』において、区内教育機関との連携を強化し、地域支援者と情報共有することによって地域の子どもの支援につなげていく。				・南区民のウェルビーイングにつながる子育て、健康長寿に係るプロジェクトや事業を精査して、世代や属性別に体系化・データベース化し、南区役所内関係機関で共有する。 ・南区民のニーズや課題に応じてウェルビーイングの実現をサポートするため、南区役所内関係機関がデータベースから事業・サービス等をプログラムとして区民に提供する。			
評価指標①	みなみ健活キャラバンで実施した個別健康相談における18歳以上64歳以下の割合				生き抜く力を育てるワークショップ事業の実施件数				南区民のウェルビーイングにつながる子育て、健康長寿に係るプロジェクト・事業・サービス等の数			
年度	R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7
目標値		29.0%	32.0%	35.0%		10	13	15		100	110	120
実績値	25.7%	32.9%	82.0%		6	10	9		—	150	160	
評価指標①及び目標値設定理由	【評価指標設定理由】 みなみ健活キャラバンは、保健センターで啓発の機会が少ない若い世代へのアプローチの場とするため、若い世代の参加割合を評価指標として設定。 【目標値設定理由】 令和4年度の先行実施の数値をもとに設定。				【評価指標設定理由】 子どもたちが自分の将来を前向きに考え、自らの力で未来を切り開いていくために欠かすことのできない自尊感情の醸成を図ることを目的に、南区子どもサポートプラットフォームとして講師を派遣し、直接子どもたちに向け実施している「生き抜く力を育てるワークショップ」の実施件数を評価指標として設定。 【目標値設定理由】 令和4年度の実績の数値をもとに設定。				【評価指標設定理由】 適切かつ円滑に事業を実施するために、多岐にわたるプロジェクトや事業、サービスの中から区民のウェルビーイングにつながるものを南区役所内保健福祉関係機関で精査し、事業のベースとして整備した情報量を評価指標として設定。 【目標値設定理由】 現在、南区役所や堺市役所関係部局、外郭団体等で実施しているプロジェクト・事業・サービスの数をもとに算出。事業に取り組む初年度の令和5年度は100程度とし、毎年10ずつ情報量を増やす想定で設定。			
評価指標②	個別での健康相談数 (みなみ健活キャラバン、訪問・所内面接等)				セカンドステップ事業(子ども向けのソーシャルスキルを学ぶプログラム)を実施している園の数				特定健康診査受診率			
年度	R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7
目標値		900	950	1000		6	8	10		40%	45%	50%
実績値	833	1228	1148		3	8	8		29.9(R3)	31.3(R4)	31.6(R5)	
評価指標②及び目標値設定理由	【評価指標設定理由】 イベントや健康教育等の集団でのアプローチの場を通して、個々の健康状態に寄り添ったアプローチをすることで健康レベルの向上につなげるため、個別での健康相談数を指標と設定。 【目標値設定理由】 令和4年度の相談数をもとに令和7年度の目標を設定し、毎年50名ずつ増加させる想定で設定。				【評価指標設定理由】 子どもたち自身がソーシャルスキルを身につけ、感情のセルフ・コントロールとコミュニケーションの取り方を学ぶ「セカンドステップ事業」を実施することで、子どものウェルビーイングの向上をめざすことから、本事業の実施園の数を評価指標として設定。 【目標値設定理由】 令和4年度の実施数をもとに令和7年度の目標を設定し、毎年2園ずつ増加させる想定で設定。				【評価指標設定理由】 南区民の健康への関心や課題意識が向上し特定健康診査につながった場合に数値として現れる特定健康診査の受診率を評価指標として設定。 【目標値設定理由】 「堺市南区基本計画」「堺市基本計画2025」のKPI(重要業績評価指標)と同じ数値を設定。令和7年度に50%にすることを目標に、現状の実績値から毎年同じ割合で増加させる想定で設定。			
令和5年度実施内容	・「みなみ健活キャラバン」(みどりのつどい、雑貨マルシェのMANAマルシェ、緑道ウォーキング等) ・新規事業(はいかつ講座、フレイル予防教室)、既存事業の内容や対象の見直し(ロコモ予防教室等) ・個別健康相談(みなみ健活キャラバン、訪問・所内面接等) ・駅での2次元コード付きポスター掲示、ICTの活用、乳幼児健診等でのプラスアルファの情報提供 ・テレビ通訳の活用、歯科保健に関する資料の翻訳				・南区子どもプラットフォーム事業(小中学校との学校連携、子どもの生き抜く力を育てるワークショップ事業、南区教育機関との連携研修) ・前向き子育て支援事業(ポジティブ・ディシプリン・プログラム) ・セカンドステップ事業 ・子どもの育ち応援講演会 ・父親支援事業(南区ぱぱてらす事業、育休カフェ)				・行政や法人など組織の垣根を越えた情報管理方法、区民への情報提供方法について、南区役所内保健福祉関係機関で検討。 ・情報管理・情報提供方法として、堺市ホームページの電子申請システム「手続き判定ナビ」を活用することに決定。			
令和6年度実施内容(予定含む)	・「みなみ健活キャラバン」(みどりのつどい、帝塚山学院大学祭、緑道ウォーキング) ・軽度認知障害(MCI)・フレイルの理解と予防行動普及への講演会 ・南海高野線・泉北高速鉄道電車内での2次元コード付き特定健診受診勧奨ポスターの掲示、ICTを活用した情報発信 ・テレビ通訳の活用、歯科保健に関する資料の翻訳				・南区子どもプラットフォーム事業(小中学校との学校連携、子どもの生き抜く力を育てるワークショップ事業、南区教育機関との連携研修) ・前向き子育て支援事業(ポジティブ・ディシプリン・プログラム) ・セカンドステップ事業 ・子どもの育ち応援講演会 ・父親支援事業(南区ぱぱてらす事業)				・「子育て、教育、健康長寿などにおける南区ウェルビーイング総合プロジェクト事務一覧」をとりまとめ、電子申請システム「手続き判定ナビ」に事業を反映させて、堺市ホームページで公開。 ・南区役所内関係機関に来られる区民に「手続き判定ナビ」のQRコードを案内するとともに、広報みなみに掲載し周知を図った。			